●健康一口メモ

「クモ膜下出血」

公立刈田綜合病院
脳神経外科部長
今泉　茂樹

クモ膜下出血という病気は、患者さんとご家族にまさに天国と地獄をもたらす怖い病気です。死亡されることも、珍しくありません。本当の意味で、もとどおりの身体、精神状態にもどれる方は約3分の1です。

この病気の名前は、脳を包んでいるクモの巣のようなスポンジ膜に出血が染み込んだ結果からつけられたものですが、原因のほとんどは脳動脈瘤が破裂することによります。何年もかかって膨れあがったお餅が破けるのと似ています。

発生頻度は毎年10万人に15人ですので、白石市内だけでも統計学的には年間6人、仙南地域では20人になります。

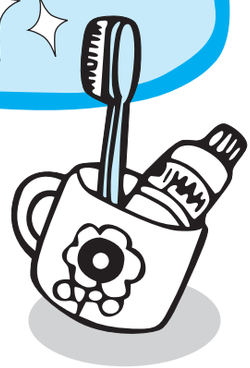
さて、大事なことは二つです。一つは、本人や家族がこの病気の症状を知ってすぐに白石市内の医院、病院に連絡すること。症状は、①頭痛②吐き気、嘔吐③様子が"変"です。

大事なことの二つ目は予防です。脳動脈瘤は破れてしまうと悲惨ですが、瘤（コブ）が破ける前に発見することができるようになってきました。ここ1、2年の医療器械の進歩のおかげです。

このため公立刈田綜合病院（岡崎肇院長）では8月より脳ドックを始めました。この脳ドックによって、未然にクモ膜下出血やその他の脳卒中を防ぐことができます。悪しき運命に逆らうことが可能になってきました。

むし歯のない子

全員集合



今回の３歳６カ月児健診で虫歯の無かったお子さんです。
ずっと健康な歯でいてね！

江刺　みさちゃん（大平中目）
佐々木優輔くん（福岡蔵本）
安藤　俊輔くん（東大畑）
髙子　　陸くん（郡山）
髙子詩緒里ちゃん（緑が丘）
佐藤　綾乃ちゃん（旭町）
大森　佑馬くん（銚子ヶ森）
半田　久美ちゃん（郡山）
谷津　琴美ちゃん（大鷹沢大町）
阿部　　晶ちゃん（沢目）
佐藤　有紀くん（福岡長袋）
小室　元希くん（斎川）
日下　結理ちゃん（福岡八宮）
戸羽日和子ちゃん（福岡長袋）

虫歯を早く治して　メダルをもらおう！

虫歯ができてしまったら治療しなければ治りません。特に、子供の虫歯は進行が早いので、早めに治療することが大切です。

そこで、平成10年４月から「むし歯のない子」の対象児に治療を終了したお子さんも含まれることになりました。ぜひ、虫歯があるお子さんも３歳６カ月健診までに、虫歯を治してメダルをもらいましょう。

㊐健康推進課　☎22－1362